

なまがき



病院理念

人にやさしく  
信頼される病院

基本方針

私たちは 皆様の権利や意思を尊重し、  
納得のいく医療を提供します。  
私たちは 地域に必要な医療を提供し、  
健やかで豊かな地域社会の実現を目指します。  
私たちは 安全で良質な医療を提供するため、  
日々研鑽いたします。

日本医療機能評価機構認定病院  
羽咋郡市広域圏事務組合

は く い  
公立羽咋病院

〒925-8502 石川県羽咋市の場町松崎24番地  
TEL(0767)22-1220 FAX(0767)22-5598  
<http://www.hakuihp.jp/>

# 小児感染症







子どもと感染症は、きってもきれない関係です。

集団生活をはじめ前の子どもは感染症に対する抵抗力が弱く、集団生活が始まると様々な病原体にさらされます。そのため、保育園に通う子どもは、そうでない子どもに比べて約2倍感染症にかかりやすいといわれています。

乳幼児は、体内の水分量が多く、必要とする体重あたりの水分量も多いため、発熱や嘔吐、下痢などにより脱水症をおこしやすい特徴があります。また、幼い頃は体力もなく、疲れたり、興奮しただけでも熱が出ることがあります。お子様の体調を十分に観察してあげましょう。

## 感染経路（ばい菌のうつり方）と主な病気

	接触感染	飛沫感染	空気感染	経口感染
特 徴				
徴	皮膚や粘膜の直接的な接触、または手や器具、その他手すりやタオルなどのような物体の表面を介しての間接的な接触により、病原体が付着することです。	ウイルスや細菌がせき、くしゃみなどにより、細かい唾液や気道分泌物につつまれて空気中に飛び出し、約1mの範囲で人にうつる	ウイルスや細菌が空気中に飛び出し、1m以上超えて人にうつる	ウイルスや細菌に汚染された食べ物を、十分に加熱しないで食べた場合や、感染した人が調理中に手指等を介して食品や水を汚染し、その汚染食品を食べたり飲んだりした場合にうつる
病 気	インフルエンザ ノロウイルス 咽頭結膜熱（プール熱） など	インフルエンザ 風しん・おたふくかぜ 百日せき など	麻疹（はしか） 水痘（水ぼうそう） 結核 など	ノロウイルス ロタウイルス など

## 冬に流行する感染症の予防について

気温と湿度の低下は、ウイルスが活動しやすく、インフルエンザは毎年約10人に1人が感染しています。

### 【インフルエンザ予防の3原則】

- ① 感染経路を断つ：人混みを避け、外出時はマスクをつける。手洗い・うがいをする。適度な湿度（50～60%）を保つ。アルコールを含んだ消毒液で手を消毒するのも効果的です。
- ② 抵抗力をつける：十分な睡眠とバランスのよい食事をとる。適度な運動をする。
- ③ 免疫力をつける：ワクチン接種を受ける（一般的にワクチンの効果が持続するのは5ヶ月程度）。

ノロウイルス胃腸炎は冬に多く発生する急性胃腸炎ですが、通年発症しています。食中毒として発症することが多く、ノロウイルスに汚染された食品を摂取したり、ノロウイルス感染者の吐物や排泄物の処理の過程で感染することがあります。**感染力は非常に強く、1gの便中に1億個のウイルスがいます。**ノロウイルスは熱に強くアルコール消毒も効果がありません。

とにかく感染症を予防するには、体内に侵入させないようにすることが重要で、もっとも基本的な日常におこなえる予防方法は、「**手洗いやうがいの励行、マスクの着用**」です。

認定感染制御実践看護師 北 信代

感染症にかかった場合、ある程度病状がよくなって、まだ感染力があればほかの子どもにうつしてしまうことがあります。できればお医者さんに確認してから登園しましょう。

子どもがかかりやすい感染症には、流行しやすい季節があります。予防接種がある感染症は、流行する季節に注意し、接種時期になったらなるべく早く予防接種を受けましょう。予防接種がない感染症は、流行する季節に差し掛かったら、

## かかるまえにできること



ワクチンで  
予防できる感染症は、  
早めに予防接種を  
受けておきましょう！



手洗いを  
しっかりしましょう！  
(15秒以上)



食事や睡眠を  
しっかりと、  
規則正しい生活を  
こころがけましょう！

※手洗いは石けんを用いて30秒を目安に実施！

## 感染症がはやる季節

感染症名	春			夏			秋			冬			ピーク時
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
麻しん(はしか)	3月~8月												
風しん	3月~7月上旬												
みずぼうそう	12月~7月												
おたふくかぜ	3月~8月												
インフルエンザ										1月~3月			
感染性胃腸炎(ロタ)	3月~5月												
感染性胃腸炎(ノロ)							11月~12月						
ヘルパンギーナ			6月~7月										
手足口病			6月~8月										
咽頭結膜熱(プール熱)			7月~8月										
溶連菌感染症									12月~7月上旬				
突発性発しん	通年												

田辺三菱製薬 ワクチン.net より引用

しっかり手洗いをし、規則正しい生活を心がけるなど、徹底した予防対策が大切です。

感染症のなかには、学校保健安全法施行規則により出席停止となる病気もあります。そのため、集団生活をはじめる前に、予防できるものは可能なかぎり予防接種を心がけましょう。地域の流行情報、幼稚園・保育園などの掲示や手紙での注意喚起などをチェックしておくことも大切です。気になることがあれば、かかりつけの小児科医にご相談ください。

感染制御室室長 石田 茂雄  
認定感染制御実践看護師 北 信代

## 【ノロウイルスを予防するには】

- ① こまめに流水と石けんで手を洗う。
- ② 吐物や便の処理の際には使い捨てのマスクや手袋を使用し、ウイルスに接触しないようにする。
- ③ 汚染を取り除き、次亜塩素酸ナトリウムで消毒する。

### 正しい手洗い方法



※作り置きは消毒効果が落ちます！

## 第2回 ICTの活動



ICTとはインフェクションコントロールチーム（Infection Control Team：ICT）の略称で、院内で起こるさまざまな感染症から患者さん・家族、職員の安全を守るために活動をおこなう組織です。医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、臨床工学技士、管理栄養士、事務職などさまざまな職種が集まり、横断的に病院全体の感染対策活動をおこなっています。

当院の感染対策は、院内および地域内に感染症の患者さん（家族・見舞客を含む）と感染症にかかりやすい患者さんが同時に存在していることを前提に、感染防止に留意し、感染発生の際には拡大防止のため、その原因の速やかな特定、制圧、終息を図ります。感染防止対策を全職員が把握するよう感染防止対策活動の必要性、重要性を全職員に周知徹底し、共通の課題として積極的な取り組みをおこなっています。

また、地域の皆さんに、出前講座を通して感染防止のための教育「正しい手の洗い方・感染症予防」「高齢者施設における感染対策」などもおこなっています。



栄養状態が悪い・免疫機能が低下している患者さんは特に感染症にかかりやすく、合併症も起こしやすいため、今後は栄養サポートチームなど他のチームとも協力しながら、皆さんを感染から守っていきたいと考えています。

認定感染制御実践看護師 北 信代



## 入退院支援センター開設について



平成30年6月20日より入退院支援センターが開設され、看護師が配置されました。入院を予定している患者さんが、入院後の生活や治療をイメージでき、少しでも安心して入院医療を受けていただくことを目的としています。各診療科と連携し、入院中におこなわれる治療や入院生活についての説明のほか、日常生活動作の状況や普段の生活への支障の有無、栄養状態等を確認し、入院する病棟での支援や退院時支援につないでいます。

また、口の中の状態を確認し、口のケアの重要性や効果についてのお話や、入れ歯の管理方法、歯科受診なども提案させていただいております。

入院を予定している患者さんの不安や疑問が少しでも解決されるように、と考えながら日々対応させていただきます。

入退院支援センター 副看護師長 玉田 千秋

# 職場 体験

## 中能登中学校 (3名)

体験職種 薬剤師

今年もわくワーク体験に、中能登中学校の生徒が参加して下さいました。薬剤科ではまず内服、外用、注射の種類、形態、薬効等を説明し、内服薬の調剤については錠剤分包機から出てくる錠剤やカプセルが処方せん通りに分包されているか、監査業務を体験してもらいました。また散剤の量り方や監査までの流れを説明しました。注射の払い出しについても説明し、医師による注射オーダーを患者ごとに払い出す作業を体験してもらいました。また安全キャビネット内での抗癌剤等の混注業務を見学してもらい、麻薬の保管管理についても説明、払い出し方法、返却方法を見学してもらいました。

麻薬とは悪いイメージしか無かったようですが、鎮痛等の目的で広く使われていることを知り、少し驚いた様子でした。是非、薬剤師を目指して下さい。

薬剤科 薬局長 中川 健



## 邑知中学校 (3名)

体験職種 言語聴覚士



今年もわくワーク体験で中学校の生徒が、リハビリテーション科に来てくれました。理学療法、作業療法、言語聴覚療法、通所リハビリ、訪問リハビリと色々な体験をしていただきました。初めて聞く療法もあったようですが、熱心にメモを取る様子もみられ、説明する側も訓練の意義を振り返る良い機会となりました。

リハビリテーション科では患者さんと直接触れ合う場面が多く、会話を通して徐々に患者さんと生徒の笑顔が増えていったのが印象的でした。今回のリハビリテーション科での体験を通して、将来の進路選択の1つにしていただければ幸いです。

リハビリテーション科 主任言語聴覚士 折戸 真須美

## 羽咋高校 (8名)

体験職種 臨床検査技師

今年のインターンシップには一名が参加してくれました。検査科では三日間の日程で、生理学検査・検体受付・搬送・生化学検査・輸血関連検査・一般検査・細菌検査等の説明・見学・体験を実施しました。

自身も罹患したことがあるためか、インフルエンザやノロウイルスなどの簡易キットによる迅速検査や、その他、血液型・輸血検査に関心があるようでした。

今のところ職業選択に関しては漠然としている様でしたが、今回の体験を通じて臨床検査技師の仕事を理解していただき、選択肢の一つとしてもらえたら幸いです。

臨床検査科 主任臨床検査技師 舩岡 久美子



## 羽咋中学校 (5名)

体験職種 看護師



手術室では、私たち手術室看護師が普段どのような業務をおこなっているかを説明しました。生徒は、実際に手術時の手洗いをを行い、術衣や手袋をつけたり、手術に使用する器械を触ったりし、興味深そうにしていました。

今回は患者さんと接する機会はなかったのですが、実際に手術台に寝てもらい血圧計などを装着し、患者さんがどのような思いで手術を受けられているか、そこに私達がどう関わっていくかということも話をしました。少し難しい話になってしまいましたが、熱心に話を聞いてくれたのが印象的でした。短い時間でしたが、進路選択や将来の職業選択のきっかけになってくれたら嬉しく思います。

中央材料室・手術室 看護師 坂本 和也

# やすらぎコンサート

平成30年9月20日（木）、今年度第3回目となるやすらぎコンサートが開催されました。はくい吹奏楽団☆のお二人が、トロンボーンの演奏を披露してくださいました。トトロで有名な「さんぽ」、皆さんが口ずさめる「故郷」、「星に願いを」など全7曲を、聴かせて下さいました。柔らかくやさしい音色に、観客の皆さんはゆったりと耳を傾けていました。

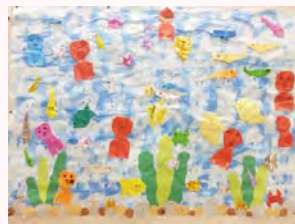
プログラムの一曲、「笑点のテーマ」では、自然と笑みがこぼれる方もいて、元気ももらえるコンサートでした。

医療サービス推進室 社会福祉士 井上 麻有子



## ありがとうございます

- ♥ なぎさ表紙題字・絵手紙 辻口 敦子 様
- ♥ 写真 羽咋写真協会の皆様
- ♥ 絵画 羽咋美術協会の皆様
- ♥ 書字 羽咋市書道協会の皆様
- ♥ 俳句 宝達志水町若葦会の皆様
- ♥ 園児の絵 白百合幼稚園、邑知保育園



## いきいき健康づくり教室 予定

♪どなたでも参加できます♪

### コレステロール・あぶらで血がドロドロ

開催予定日: 11/7(水)、12/5(水)  
 第1水曜日 15:00~  
 場所: 3階病棟 食堂談話室  
 内科医師、管理栄養士、理学療法士

### 高血圧・塩で血管がパンパン

開催予定日: 11/19(月)、12/17(月)、1/21(月)  
 第3月曜日 15:00~  
 場所: 3階病棟 食堂談話室  
 内科医師、管理栄養士

### ねたきりにはならない!

開催予定日: 11/28(水)、12/26(水)、1/23(水)  
 第4水曜日 15:00~  
 場所: 2階病棟 食堂談話室  
 整形外科医師、作業療法士、管理栄養士

## 季節の 写真



## 編集後記

台風にかき乱される日が多い今年の秋ですが、みなさんはいかがお過ごしですか。春から取り組んだことが実となって、冬を越すエネルギーとなりますように。